

ぼくの町 わたしの町

やぶづかへびわんると

太田市藪塚町にある、日本に1つしかないへび専門の研究所を知っていますか？

にほんへびぞくがくじゅつけんきゅうじょ

ジャパンスネークセンター（日本蛇族学術研究所）です。人が毒へび

（ヤマカガシ）にかまれた時に命をすくう薬を作ることを成功させたり、へびに関するいろいろなことを研究しています。

その日本唯一の研究所の三保研究員にお話を伺いながら、へびに関する本を集めたコーナーを作りました。図鑑や絵本、かなりマニアックな雑誌もそろえました。

好きな方はもちろん、苦手な方もきっと少しはおもしろいと感じてもらえると思います。（だめだったらゴメンナサイ・・・）

夏休みの自由研究にも使えると思います。一度、見に来てください！



※※夏休み中の土日祝日は、図鑑を使ってへびの名前を調べる『へびクイズ』にチャレンジ！全問正解すると記念写真をプレゼントします。



作品名	著者	予約数
敵の名は、宮本武蔵	木下 昌輝 (きのした まさき)	0
会津執権の栄誉	佐藤 巖太郎 (さとう がんたろう)	2
月の満ち欠け	佐藤 正午 (さとう しょうご)	46
あとは野となれ大和撫子	宮内 悠介 (みやうち ゆうすけ)	6
BUTTER	柚木 麻子 (ゆずき あさこ)	48

『影裏 (えいり)』

沼田 真佑

(ぬまた しんすけ)



★6/24 小学生一日図書館員 感想☆

○一日図書館員になって、図書館員の仕事がよく分かりました。とても勉強になって楽しかったです。藪塚本町図書館には本、DVD、CD などたくさんそろっていて、また借りに来たいです。(休泊小6年)

○楽しかった。またやるきかいがあったらやりたい。(藪小5年)

○本の貸し出しや返す時などバーコードを読み取ったり、ふだんは入れない倉庫みたいな所も行ったり、楽しかったです。体験してとてもたいへんだとわかりました。(藪小5年)

○カウンターの仕事はお客さんが来て少しはすかしかかったです。本を元のところに返す仕事はどこだか分からなかったのでむずかしかかったです。ブックコートの仕事は、空気を入れずにぴったりはるのでむずかしかかったです。これを全部ほとんど毎日やっている人はたいへんだなと思いました。(藪小3年)

●図書館のお仕事を実際に体験することができ、お友達も本人もとても喜んでおりました。借りることはあっても貸す方はこのような機会がなければ経験できないですし、様々なことを勉強できて大変感謝しております。「キッズニア」に行かなくても職業体験ができるなんて素敵ですね。これからも続けていってほしいです。

●普段から図書館を利用して雰囲気を知っていることもあり、楽しくお手伝いできたようでした。体験後に感想を聞いてみたところ、すべて楽しかったと言っていましたのでやらせてよかったと思います。

●仕事の大変さを知り、これからもいくつもの仕事が色々な形でありますので、少しでも図書館の仕事ができたこと、本人も大変喜んでいました。

当日は新聞記者が3人も取材に来て実際に紙面にも紹介されました。
次回は1月の予定です。興味のある小学生はぜひ参加してください！



『グレッグのダメ日記①～⑩』 ジェフ・キニー/作 (児童書 933キ)

この本は、グレッグがダメな日記をかくおはなしです。たとえば5分ルールといって、だれかがおとしたものを5分以内に食べるのがルールです。けどまちがえてもともとさいしょからおちていたものを食べていてほけんしつについておしりからとりだすという場面です。わたしはこの本が大好きです。 ペンネーム：吉野羽奏 さん

おのざとちはな さん

お友だち同士で同じ本が好きなのかな？一緒に読書をして、感想が言い合えるなんて素敵ですね！

